



case 19 その他サービス業

石坂産業株式会社

子どもを入社させたい会社を目指して、女性経営陣の声を基に働きやすい職場を整備

「自分の子どもを入社させたい、と思える会社になりたい」という社長以下全従業員の共通の思いの下、2時間以上の短時間勤務や休日選択制度など、誰でも働きやすい職場環境の充実を図っています。また、ホスピタリティのある人づくり・雰囲気づくりへの取組みが、従業員同士のみならず、取引先やお客様、地域の方々との信頼関係を生み出しています。

企業プロフィール

設立: 1971年
本社所在地: 埼玉県入間郡三芳町
事業内容: サービス業 (産業廃棄物中間処理、廃棄物再生)
従業員数: 120名 (うち女性25名)

体験に基づく支援制度を整備

埼玉県の「子育て応援宣言企業」に第1号として登録し、また、平成20年には「第4回荻野吟子賞*」を受賞した当社は、社長および経営陣に女性が多いということもあり、自らの経験を基に、誰でも働きやすい職場環境や支援制度の充実を図っています。所定労働時間は9時から18時(1時間の休憩時間を含む)ですが、30分単位で3時間までの時間短縮が可能な制度を設けています。これは子どもの年齢に関係なく申請できますので、各従業員の状況に柔軟に対応できます。通常勤務であっても、入社時に始業・就業時間については従業員と相談し、場合によっては30分早くするなどの対応もしています。中小企業で顔の見える範囲だからこそできることがあると考えています。また、当社は週休2日制を取っており、プラントが休みとなる日曜日の他、もう1日の休日については従業員の好きな曜日を選べるようにしています。基本的には固定ですが、1週間前に申請すれば変更もできるため、子ども

特徴的な制度と取組み

- 子どもの年齢にかかわらず、30分単位で3時間までの時間短縮が可能。
- 週休2日のうち、固定の日曜日以外にもう1日は好きな曜日を選択。
- 本人・配偶者・子ども(同居に限る)を対象にした有給のパーズデイ早退制度を整備。家族の誕生日に1時間の早退が可能に。



専務取締役
石坂 知子

の授業参観や行事などに合わせて変更することができます。もし、職場内で従業員同士の希望日が重なった場合は、お互いで話し合ってスムーズに調整しています。また、本人・配偶者・子ども(同居に限る)の誕生日における1時間の早退(有給)や、家族も参加できる社員旅行なども実施しており、従業員には家庭でのコミュニケーションも大事にしてほしいです。

※「荻野吟子賞」とは、埼玉県出身で日本で最初の公認女性医師となった荻野吟子にちなみ、男女共同参加の推進に顕著な貢献のあった個人や団体、事業に授与されている賞。

ホスピタリティがプラスの循環を生み出す

従業員に主体的に仕事をしてもらえるよう、制度の充実はもちろん、風通しのよい社内づくりを行っています。役員や従業員はもちろん、協力業者が参加できる社員会を定期的に開催し、経営状況を含め、会社の情報をすべて共有しています。また、従業員には、取引先やお客様、地域の方々に対し、相手を思いやる心「ホスピタリティ」を持って接するよう常に伝え続けており、それに反する振る舞いを見かけた場合はすぐに指摘しています。このことは、社外の取引先やお客様も、同様に守ってもらっています。当社は国際マネジメント規格(ISO9001、ISO14001、ISO27001、ISO50001、OHSAS18001)を取得し、統合マネジメントを運用していますが、自らを正して、実行していくことはISOで掲げた理念の実現にも通じますし、ひいては職場環境の向上、また、お客様との信頼関係の構築にもつながっています。

次世代育成への取組み

創業当時から「自然との共生」「地域との共生」を掲げ、敷地面積の約87%を里地里山として整備してきました。現在は開放し、工場と併せて子どもたちの環境学習の場として提供しています。自分の子どもも含め、次世代への環境学習の実施は、従業員にとっても刺激になり、また企業としても資産価値があると考えています。

従業員の声

短時間勤務で、子どもとのコミュニケーションも充実



営業部 営業一課
児玉 照恵

●利用した制度: 短時間勤務(現在、9時から16時までの短時間勤務を利用)、日曜日以外の週休として木曜日を選択
小学4年生と6年生の女の子がおり、9時から16時までの短時間勤務を利用しています。子どもの年齢に関係なく利用できるのも、子どもと過ごす時間も確保でき満足しています。また、週休の休みを1日は木曜日にしていただきますので、週に1度は子どもの帰宅時に迎えてあげられます。「おかえり」と言ってあげると、子どももぱっと顔が輝きます。実際には子どもが小学校に入ってからの方が帰宅時間も早く大変なので、これらの制度は本当に助かっています。業務は1日単位ではなく、1週間の業務の中でスケジュールや業務量を適宜調整してもらっています。残業もこちらの都合のよい場合のみ、申請する形ですし、気兼ねなく仕事ができるよう常に上司や同僚に気を配ってもらっていますので、苦労や、残業しなければ、というストレスは感じることがないです。私の能力というよりは、上司や同僚の思いやりのおかげです。これまで勤務した会社では、「子どもがいるから」という引け目が私自身にもありましたし、会社側も負担に思っていることを感じていました。この会社ではまったくそういうことはありません。ずっとこの会社で働いていきたい、と思っていますので、今後は子どもの成長に合わせて会社に相談しながら、徐々に時間を増やしていきたいと思っています。また、社員旅行には娘も同行しました。娘もとても楽しみにしていましたし、私がどういった方と仕事をしているかということや、会社の雰囲気を感じとってくれているようです。上司や同僚の名前や顔を覚えて、娘から会社のことを聞かれることもあります。社員旅行に参加することによって、子どもの仕事への理解は高まっていると思います。先日は、娘の通う学校が見学に来ることになり、事前見学に来た先生が「素敵な職場だと話していた」と誇らしそうな顔で報告してくれました。子どもに誇れる会社で働いていることをとてもうれしく感じました。